



明日から**夏休み**が始まります。



ひまわり、朝顔、そして蝉の声がそろって、盛夏の季節。一学期の終業式を無事に終えることができました。

一学期は「事の始まり」として大変重要な期間にあたります。子どもたち一人一人にとって新しい環境との出会いの時です。

とりわけ、年少児にとって、はじめての「学校」、幼稚園生活です。私たち大人が想像する以上に大きな不安とストレスがあったことでしょう。しかしながら、保護者の皆様には、園とともに根気強くお子さんに寄り添っていただきご協力をいただきました。

お陰様で、今では一人で「トイレに行ってきます」、トイレの前では、上靴を履いたり、揃えたり、鏡の前で身だしなみを整えたり、通りかかる先生たちにも話しかけたりするなど、それはもうまるで「わが家」でのびのびとした姿です。ようやく、一日の流れに「見通し」を持てるようになり、安心して園生活を過ごせるようになったのですね。

子どもたちの成長は著しく目を見張るものがあります。「育つ幼稚園」そのものです。



本園教育の特色の一つに、「**メタ認知**」の促進があります。幼児期に芽生え始めている「メタ認知」を意識して育てています。

朝の会では、黒板に掲示している活動の「絵カード」を見ながら、「今日は、○と○の活動があります。」などと確認しながら一日の生活に見通しを持つようになっています。

また、帰りの会では、今日の「絵カード」をもとに一日を振り返ります。年中さんになると「○○が楽しかったです。」という発言には他の子どもから「○○のどこが楽しかったの？」と質問する姿が見られます。日々の教師の「何が楽しかったのかな？」という言葉かけを真似て、子どもたち同士でも高め合うようになるのです。

年長児になると、学級全体のめあてを作り始めます。「新しい生き物がきたからお世話の仕方を考えよう」「今日は○○遊びをたくさん友達としたい」



など、各クラスの特徴が出てきます。そして、楽しかったことだけでなく、できなかったことや次にチャレンジしたいことなど、明日への期待へとつながる振り返りもできるようになっています。

人形劇鑑賞

『トウモロコシはだれのもの』

7月1日（金）4階アリーナにて、人形劇の鑑賞会を行いました。全園児が揃って参加する活動は、実に3年ぶりのことです。先生たちも嬉しくてわくわくしていました。



さて、お話の内容はご存じでしょうか。子どもたちからお話があったのでしょうか。

少しご紹介します。コスタリカという小さな国に古くから伝わるお話です。

子ウサギは懸命に働いてとうもろこしを育てていました。あともう少しで収穫という時期になって、カミキリ虫やにわとり、きつね、おおかみまでが次々とやってきて横取りしようとした。その時、一人の狩人がやってきて。さて、小さな子ウサギはどうするのでしょうか。

最後まで存分にお話の世界に浸ることができた子どもたち。

終わってから劇団の方からは、子どもらしいアクションと落ち着いた鑑賞態度を褒めていただきました。

交通安全教室



6月28日（火）には、東住吉区役所と東住吉警察署から年中児を対象に「交通安全教室」をしていただきました。

とりわけ、青信号の時の渡り方については、右、左、右を見て**車が止まっていることを確認してから**渡り始めることを、実際に模擬信号を見ながら全児が体験しました。

「命が一番！」自らの命を守るために、子どものために、ご家庭でも意識して、青信号の時には、「右、左、右、オッケー！渡ろう！」を一緒に実践してあげてください。小学生になるまでに、一人で登校できるように、今から「仕込んで」いってください。

一学期を終えるにあたり、皆さまからのご理解とご協力には、改めまして教職員一同、感謝申し上げます。

ありがとうございました。

さて、現在、コロナ感染症の急増で極めて厳しい状況です。どうか健康管理には十分にご留意いただき、8月20日（土）の夏祭りにはお会いできますように、お元気にお過ごしください。

